

## 大野市脱炭素推進会議 第3回脱炭素ワークショップ 次第

日時 令和6年9月17日(火) 午後7時～

場所 結とびあ 201・202号室

1 開会

2 座長あいさつ

3 協議事項

(1) 報告書(素案)について

4 その他

5 閉会

# 脱炭素ワークショップ アイデア等一覧

## 報告書に取り入れたアイデア (全94)

No.	小テーマ	アイデア
1	自然	市民が自然を散歩する(ウォーキングイベント、車から徒歩へ)
2	自然	「市民」が住宅の屋外に「雪」を貯めて冷蔵庫として使う
3	自然	市民が間伐材を使ったまきストーブを導入する
4	自然	市民が、学生の農業体験及び収穫を授業に取り組む
5	自然	市民がごみ減量化のため生ゴミコンポストを行う
6	自然	マンションの住民が資金を出しあって太陽光発電設備を設置する
7	自然	市民が、住宅に簡易的な雪室を作る
8	自然	市民が、太陽光パネルと蓄電池の導入する
9	自然	市民の植樹にエコポイントをつけて緑(吸収源)を増やす。(ふくECO)
10	自然	コンポストを導入する(キエーロ)
11	自然	農作物の地産地消を行う(輸送時のCO2削減)
12	自然	地下水をくみ上げる途中でタービンを回し発電する
13	自然	家庭用(水路)を庭に、水力発電を導入する。
14	自然	深夜営業を必要としないライフスタイルに転換する
15	自然	企業版ふるさと納税活用によるPJ(資金集め)を検討する。ライブ配信を行う。
16	自然	夜間の星空観察に参加し、自然の美しさや宇宙の神秘にふれる
17	自然	ライトダウンに参加する
18	自然	家庭菜園、グリーンカーテン、コンポスト活用 を実施する
19	自然	環境配慮マーク商品を意識的に購入する
20	自然	山・川・まちのゴミ拾いを行う。アート・楽器づくりに活用する。
21	自然	ライトダウンに参加する
22	自然	食品ロス解消に向けた子供食堂を行う
23	自然	各種ロスを削減するプラットホームを開発する
24	自然	雪を使った冷房設備を作る
25	自然	バイオ炭農業(Jクレジット)を実施する
26	自然	里芋でバイオマス発電を実施する
27	自然	バイオマス発電の見学を実施する
28	自然	1カ所に太陽光を設置してみんなで使う(沖縄)
29	自然	太陽光パネルの設置を義務化する
30	自然	ライトダウンに参加する
31	自然	奥越高原牧場の牛のフンと給食の残土でバイオマス発電
32	自然	耕作放棄地に太陽光発電を設置する(農業者の収入源にも)
33	自然	水力発電の事業者が地域の住民とうまくやってる事例を紹介する。(シンポジウムを開催)
34	自然	農業事業者が化学肥料・農薬の使用をやめる、減らす
35	自然	民間事業者が小水力発電を整備する。電気を地元の事業者に供給する
36	自然	雪(氷)を夏まで保存し、かき氷などのスイーツ・特産品としてブランド化を図る
37	自然	「食品事業者」が屋外貯蔵した「雪」を使って食品保存・冷房に活用する
38	自然	事業者が「地下水(地中熱)」を利用した空調を導入する
39	自然	廃材を利用した工作物の体験教室を開催する
40	自然	事業者が雪の反射を活かした「太陽光パネル」を導入する
41	自然	事業者が雪貯産食品を販売する(道の駅)
42	自然	森林を活用したJクレジットを活用する(経済効果により森林保全の促進)
43	自然	「温浴施設」で「雪」を冷房に活用する
44	自然	小学校等にコンポストを設置する
45	自然	九頭竜湖で水力発電の最大化を図る
46	自然	大野版CNカルタ・CNポスターコンクールを実施する
47	自然	市役所が夏の猛暑の熱を蓄えて冬の融雪に活用(熱の保有)
48	自然	水力・太陽・火力エネ管理を地域で行う(九州)
49	自然	地元農産物を利用したレストランを応援する
50	自然	家庭から出る生ゴミを肥料に転換する
51	自然	冬時期の除雪を利用してのスキー場を開発する
52	自然	市が森と水の循環を学べる施設(ピオトープ)を整備する(市民も)
53	自然	学校が森と水の循環について教える(学びの場提供)
54	自然	市が市民の脱炭素化の活動にポイントを付与(デジタル地域通貨)
55	自然	子供に植林活動、キャンプを体験させる企画を実施する(自然保護の啓発)
56	自然	行政が、イベントで「雪」を使って環境教育を実施する
57	自然	市が、市有林の保全、植林によりJクレジットを創出する(森林を守る費用を捻出する)
58	自然	カーボンフットプリントを見積もりに入札ポイントを付与する
59	自然	保育園等の教育機関を巻き込んでの植林と管理を行う(市民)
60	自然	月一度、自宅から見える星空の風景を写真で撮り、投稿する(SNSなど)

No.	小テーマ	アイデア
61	自然	様々な所で見る星空の違いが分かるようにする。ライトダウン
62	自然	市民が、ヒートポンプ式で発熱する家電を使って節電する(エコキュート、冷蔵庫、洗濯機)
63	自然	豪雪地域に対応した太陽光設備を購入する
64	自然	常時使用しない家庭内のライトをスイッチ式ではなく人感センサー式に変える(特に玄関先)
65	自然	夏休みの宿題で親子で節電チャレンジを行う
66	自然	南六呂師か刈込池近くに市民植樹による森を作りカーボンニュートラルのシンボルとする
67	自然	市民が、気温30℃になった日は、午後2時に必ず打ち水する。(水は必ず井戸水or川水)
68	自然	家庭で生ごみを土に埋めて、微生物の力で消滅させる
69	自然	TVは電力消費量が多く熱も発生するため、TVを見ない
70	自然	スーパーで出来ることは限界があるため、家庭での水洗いリサイクルを実施する(ごみの減量)
71	自然	まず、大野の自然をとことん知る。(全体で)
72	自然	みんなで(市・事・行)蛍光灯、白熱電球をLED(光色は暖色)に変える
73	自然	非常用電源としても注目されるポータブル電源を太陽光発電のシートとともに家庭に導入する
74	自然	農業者が雪の季節に大根を栽培し売る(雪の下大根は味がいい)
75	自然	市内森林で創出されたJクレジットを市内事業者が購入する
76	自然	減反で野菜を作る前に土づくりで牛の堆肥を土にすきこむ
77	自然	事業者が発電した電気を公共施設に供給する(小水力発電)
78	自然	電気製品の充電化(深夜電力で充電し、充電冷蔵庫で使用)
79	自然	大手電力会社の水力発電を地域に優先的に利用できるよう、脱炭素が必要な企業にきってもらう
80	自然	グリーンカーテンを再実施する(エアコンの節電につながる)
81	自然	農家(米作)から大量に出るもみ殻を何かに使う
82	自然	太陽パネルの応用。農地の日照コントロールなど
83	自然	みんなで(市民、事業者)太陽光発電を普及させ、自身で使う
84	自然	野菜の廃棄物ゼロの取組。(JA・シルバー・道の駅・トラス)農家でそれぞれ出荷
85	自然	事業者の炭素排出量を見える化し各々に削減目標を掲げてもらう
86	自然	大野型ZEB・ZEHを開発する。(大野の木材、水に合った建物)
87	自然	酪農家が牛のゲップ(メタンガス)が出ないエサを食べさせる
88	自然	林業家と市民が連携して、薪ストーブを流行させる
89	自然	太陽光の電力を蓄えて市民のEVに格安で充電
90	自然	雪利用のイベントを主催する。(コンテスト、お祭り、学会)
91	自然	星空のWEB中継を行う(会費制orふるさと納税)
92	自然	Jクレジットを事業者(田・森)に働きかける
93	自然	自然を守る行動のポイント化。林業支援につながるような商品購入に。
94	結	ドイツの分別 ごみが成功したのは、子ども→大人
95	結	こども→大人 こども先生
96	結	市民→行政 ON市民会議
97	結	市と農家さん脱炭素農業ツアーを実施する
98	結	市と個人の取組 生ごみゼロ 家庭で処理→方法 無料の生ごみ処理機 我が家では堆肥槽に入れて土にする
99	結	さかだに雪まつりでPRを行う(自治会と事業者)
100	結	建設重機から出る、廃油のリサイクルか廃油ストーブ エンジンオイル、てんぷら油
101	結	事業者の会員が多い団体(ライオンズクラブ、青年会議所等)の会合にて脱炭素のセミナーを開催する
102	結	事業者→事業者 設備などの共同利用、協同組合
103	結	会社で取り組む→従業員に浸透する
104	結	異業種が集まる団体でセミナーをすることで横のつながり・意見交換ができる
105	結	市内事業者と市民と一緒に市内全域のごみ拾い大会を行う
106	結	雪室のDIY
107	結	事業者の食品ロスをこども食堂に提供する
108	結	「事業者」が雪の利活用について説明する場を設ける(市民に向けて)
109	結	個人のコンポストで作った堆肥を農業者が利用する
110	結	「大学職員(研究員)」が「学校」でONIについての出張講座を行う
111	結	事業者→市民(小売) フードロス削減 消費期限ギリギリ 商品の積極的販売
112	結	金沢のひむろ まんじゅう →雪室
113	結	ホームカミングディ(大学)植樹したのを見に来る
114	結	つるが→ごみが減ると預金の〇〇が〇〇するなどの商品を作る
115	結	LED補助
116	結	県の認定とりましよう プロジェクトを大野市でつくる
117	結	岩倉市と自然ふれあい探検隊で植樹
118	結	「市役所」が管理する雪山を「市民」「事業者」がシェアして利用
119	結	「市役所」「事業者」が雪室で保存したい食材を「市民」から募る
120	結	市と事業者で環境フェアを実施する(農家さんの取組も紹介、試食)

No.	小テーマ	アイデア
121	結	月に1回同時にノーマイカーデーをして帰りは、市内飲食店で食事して帰る
122	結	事業者のCO2排出量の測定し、支援を市が行う(補助金等)
123	結	市が脱炭素取組コンテストを開催し市民が参画する(意見のすい上げ)
124	結	各事業者が取り組んでいる、脱炭素の自慢大会をする PR、フェア
125	結	行政→市民、事業者 認定、表彰制度の創設
126	結	行政→行政 大野市と他市との連携
127	結	市と木材を扱う事業者さんとで端材のマッチングを行う
128	結	カーボンニュートラルの日を制定し事業者がノーマイカーデー、乗り合い、ノーマイカーデーに取り組む
129	結	行政→市民 ハビコイン付与 回収ステーション
130	結	六呂師高原に星の環境大学をつくり若者を呼び込む
131	結	地域でお年寄り、こどものクールシェアリング(夏休み)
132	結	事業者の廃油でエコキャンドルイベントを開催
133	結	市民が薪の代わりに廃棄木材を工務店から調達する
134	結	不用品持ち寄り市を定期的に開催 してごみを減らす バザー
135	結	市民が無料で使える無人タクシーを導入
136	結	市民が無料で使える自転車街中に配置
137	結	市民の車にステッカーを貼り、タクシー代わりに使える
138	結	大野市外の事業者×大野市民 定期的なテレワーク推奨(市が実績に補助)
139	結	JRが定期利用者にポイント還元
140	結	生協、郵便局、宅配等の共同輸送
141	結	バス、タクシー業者、郊外自治会(市)とオンデマンド×EV車導入
142	結	脱炭素推進会議を中心としたメンバーで環境イベントを実施
143	結	廃棄物をとことん利用する→木材、ふん、野菜
144	結	事業者→市民 市内の木を扱う業から出た廃材を格安にて市民に販売
145	結	企業が市と県民生協主催のフードドライブに参加し食品の量を増やす(寄付)
146	結	段ボールコンポスト、段ボール雪室を開発する。安価で発売
147	結	生産者をまきこんだフードドライブ
148	結	工務店から出た端材を銭湯で使う(地域おこし協力隊がコーディネーター)
149	結	車を乗り合わせて出勤する。(ガソリンを抑えられる)コミュニケーション
150	結	事業者→市民 古米を利用した料理を研究発表(コラボでも他)
151	結	稲わらを利用したい人を募る
152	結	おがくずを利用したい人を募る
153	結	もみ殻を利用したい人を募る
154	結	中竜鉱山で雪室を行う
155	結	越美北線のハイブリッド電車化
156	結	越美北線と森林組合の連携で木材を運ぶ
157	結	市民から廃油を集め越美北線を走らせる
158	結	町内会・自治会で小水力・マイクロ水力導入 地域の施設にて利用
159	結	宅配事業者が市民と(に)置き配BOX普及
160	結	再エネ・脱炭素の取組をしている商店で買い物するとポイント付与
161	結	エネルギーシェアリングを検討する。電力、熱、交通
162	結	学校で環境教育 今回のワークショップのような取組を継続(アイデアコンテスト)
163	結	学校でCO2排出量測定→削減取組で競争(省エネプログラムを考える)
164	結	ごみ集積方法の改善、混ぜない(集積センターだけでも)
165	結	東京や大阪といった特定都市と協定を結び生産したエネルギーを消費する見える関係
166	結	大規模な雪室を作って、共同利用する。付加価値化を低コストで
167	結	学校が、間伐材を活用した授業(工作や作品イベント)
168	結	行政→団体→市民 市とキャンパーとコラボ配信。大野市に人を呼ぶ、大野産の薪を売る、事業者が薪を作る
169	結	行政→事業者 Jクレジット用の森林と販売用(例)薪の木材を計画的に育成
170	結	行政→市民 冬の雪を保管、夏に解放して雪を使ってスポットクーラーにて節電
171	結	市と車屋さんとエコカーイベントを開催する
172	結	生ごみ処理のアイデアコンテストを市が開催して市民を表彰
173	結	大野市蓄電所
174	結	市と団体が連携してアフリカ村を1週間開催(市民参加)水や電気の使い方が見直せる
175	結	行政→事業者 エネルギーのネットワーク化(太陽光パネル)
176	結	市が事業者の省エネ手法について研修会を開催する
177	結	前向きコンパクトシティ、集落の集約化を進める

具体策（分類表イメージ）

	キーワード	カテゴリ						主体				
		ハード整備	ソフト整備	運動	イベント	啓蒙	開発	事業者	団体	市民	市	その他
NO.1	薪・薪ストーブ		○								○	
NO.2	製材端材			○				○	○		○	
NO.3	生ごみ				○			○	○		○	
NO.4	こども				○			○	○		○	
NO.5	家庭、CO2量			○						○	○	
NO.6	環境フェア				○			○	○		○	
NO.7	フードドライブ			○				○			○	○
NO.8	J-クレジット			○				○	○		○	
NO.9	ポイント、アプリ					○		○			○	
NO.10	排出量可視化	○						○			○	○
NO.11	雪、環境教室				○	○				○	○	○
NO.12	雪、ブランド化							○				○
NO.13	小水力発電		○				○	○				○
NO.14	ZEB・ZEH					○		○			○	
NO.15	ライトダウン					○		○	○	○	○	
NO.16	LED		○								○	
NO.17	脱炭素セミナー					○					○	
NO.18	出前授業					○		○	○		○	
NO.19	シェアリングエコノミー			○				○	○	○	○	
		1	3	5	4	6	1	14	8	4	17	5